

幕末の近代的新聞創刊から現代まで

日本ジャーナリズム・報道史事典 トピックス1861-2011

日外アソシエーツ編集部 編

A5・490頁 定価(本体14,200円+税) ISBN978-4-8169-2381-4 2012年10月刊行

この一冊で近現代ジャーナリズム・
報道史を俯瞰的に理解できる

■1861(万延2/文久1)年～2011年の150年間にわたる、日本のジャーナリズム・報道に関するトピックスを年月日順に掲載した年表事典です。

■報道関連の事件、マスコミ関連企業の創業・合併・倒産、メディアの発達と普及、報道の自由を巡る議論、業界動向など4,454件を記載しました。

■検索に便利な「分野別索引」と「事項名索引」付き。

収録トピック例

日本初の新聞／初の従軍記者／報道カメラマンの誕生／ラジオ放送開始／光文事件／戦時下の言論統制／マスコミ関連団体の設立／レッドバナー／テレビ放送開始／第5福竜丸事件のスクープ／ミッチーブーム／東京タワー完成／南極取材／沢田教一殉職／カラーテレビ普及／写真週刊誌ブーム／赤報隊事件／衛星放送開始／松本サリン事件／インターネットメディアの発達／東日本大震災とソーシャルメディア

好評既刊 日本出版文化史事典—トピックス1868-2010
A5・570頁 定価(本体14,095円+税)
ISBN978-4-8169-2292-3 2010.12刊

内容見本

1995年
(平成7年)

1.17 [災害報道] 阪神淡路大震災 午前5時46分、兵庫県淡路島北部を震源地とするマグニチュード7.2の直下型地震が発生。NHKは発生直後から定時番組を休止して報道にあたり、特に初動放送は26時間連続放送、安否情報を初めてテレビでも流した。地震が発生すると10秒前の映像から録画するスキップバックレコーダーが、地震発生時の神戸放送局内部の様子を録画していた。国際放送は発生直後からジェネラル・サービスをすべて地震情報中心に編成した。民放は神戸・大阪の9社を中心に特別報道体制で放送し、避難、安否情報、復興へ向けた動きを伝えた。朝日放送はラジオで「無事放送」を実施。パソコン通信は無料の地震情報コーナーを開設した。新聞各紙は全国紙ならびに地方紙28社が相次いで号外を発行した。

1.17 [新聞] 神戸新聞も発行継続 被災地の神戸新聞は社屋が使用不能になるなどの大きな被害を受けたが、前年1月1日付けで災害時の相互援助協定を締結していた京都新聞社から支援を受け、休刊することなく夕刊4ページを発行した。

1.20 [ラジオ] 市役所から放送 NHKは神戸市役所に臨時ラジオスタジオ「生活情報センター」を設置して被災者向け生活情報を2ヶ月間にわたり放送。25日からはラジオ第1放送で外国人向けに英語生活情報の放送を開始した。

1.30 [雑誌] 「マルコポーロ」廃刊 文藝春秋社の月刊誌「マルコポーロ」は、同誌2月号に掲載された「ナチ「ガス室」はなかった」と題する記事について間違いがあったと謝罪するとともに同誌を廃刊とし、編集長を解任した。

3.20 [事件報道] 地下鉄サリン事件 東京の営団地下鉄日比谷、千代田、丸ノ内3路線5本の電車内で、サリンを使った無差別殺人テロ事件が発生。NHK、民放各局とも特設ニュースなどを終日放送、新聞各紙も号外を発行した。

3.22 [事件報道] オウム真理教施設一斉家宅捜索 警視庁は、東京・目黒の公証役場事務長拉致事件で、山梨県上九一色村などオウム真理教の施設25ヶ所を強制捜査、サリンの原料となる化学薬品類を押収した。テレビでは地下鉄サリン事件と関連づけてこれを終日放送し、新聞各紙が号外を発行した。

3.22 [テレビ] 放送開始70周年 NHKは放送開始70周年を迎えた。ロゴマークを一新し、放送センター見学コースをオープンした。これに先立つ14日には放送文化研究所が記念シンポジウムを開催した。

2016.12

お問い合わせは… 日外アソシエーツ 営業局

TEL.03-3763-5241(代) FAX.03-3764-0845
〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 <http://www.nichigai.co.jp/>

■貴店名

注文書

日本ジャーナリズム・報道史事典
—トピックス1861-2011

定価(本体14,200円+税) ISBN978-4-8169-2381-4

冊



9784816923814